

## 今年も懲りずに… 行ってきました ピバ・アコーディオン！

文 越村あや子

ゲスト演奏 アンサンブル・アルマのスナップ



6月1日(日)この日はお天気の恵まれ、さわやかな初夏の風が吹いていました。私たち関東勢は宿泊地を出て一路会場(玉水記念館)へ。開演10時に程よく到着。1年ぶりの会場はまだ記憶にも残っていて懐かしく思い出せました。受付は人任せにして、まずは物色。関西に来たのだもの関東にないものは?。ずらりと並んでいる曲集はすべて昨年までに手に入れたものばかりでした。残念でした。

会場に入りほぼ中央に席を取り、そうこうしているうちに会場はどんどん人が集まり、立ち席も出るほどに!

**第一部はソロ。**17人が次々に登場。様々ジャンルの曲に出会いました。弾いたことのある曲に出会ったときの喜び。

.....



藤林氏宅での歓迎夕食会のスナップ

やむなく、哲学の道を銀閣寺まで散策し帰途に着きました。(記:乙津)

知らない曲。そして「今度あの曲を弾いてみたい」という曲を見つけました。

**第二部は重奏・アンサンブル。**5グループが10曲、これもまたいい。そして食後のあとに**第三部。合奏**ここで出番関東勢。

鑑賞も演奏もいいのだが、僅か4分足らずの曲を演奏するのに交通費を遣い宿泊してまで何度も来たくするのは何なんだろう??ここにたどり着くまでの仲間との触れ合いなんじゃないかなと私は思う。練習を通して感じあうこと、寝食を共にして感じあえるもの、そこから得るものの壮大さに魅力がある。今年もバッチリエネルギーの確保ができた。



関東でもおなじみの青木さん、森元さんとの再会を喜び記念撮影(玉水記念館玄関前にて)

《今年もお世話になりました!》

大阪新音アコーディオン研究会の講師をされている藤林氏宅に5月31日、6月1日と2泊させていただきました。31日の合同練習、夕食の歓迎会、会場への楽器の運搬など、本当にありがとうございました。最後まで残った4人は、ルノアール展を見ようと京都へ向かったのですが月曜日で休